

孝栄会情報局

Program

- 孝栄会 遊歩道
 - ・子供みこしが来るよ～!!
 - ・“第30回足利市ふれあいのつどい”に参加しました
 - ・“第44回足利市ふれあいのつどい”に出かけました
 - ・太田吉沢ゆりの里に行ってきました
 - ・第44回日本作業療法学会に行ってきました
 - ・ケアホーム「Co-net.」若竹見学に来て下さい!!
- ター君博士の「これってニャ～に？」
 - ・コンプライアンス・アドヒアランス・コンゴダンス
- お知らせ
 - ・チゴ's Cafe

TEL. 0284-71-3191

FAX. 0284-71-3153

E-mail: g-home@nifty.com

http://www.koueikai.com

No.17

2010 夏



デイケアのふらり畑～夏野菜～

この夏、精神科デイケアでは、精神科グループホーム・クローバーⅡの敷地内にある小さな畑でナスやジャガイモなどの夏野菜を育てています。以前は“畑”というプログラムで農作業を行っていましたが、今年からは、いつでも畑に行けるようにとプログラムには組み込まず、気分転換の時や少し話しがしたい時にふらりと立ち寄ってもらっています。

縁側に座り野菜の育ち具合を見たり、水撒きや草取りをしながらゆったりと過ごしてもらっています。そうしたやり取りの中で、普段はあまり触れられない日常生活の不安などの話題が挙がる時もあり、スタッフは本音を知るきっかけとなることもあります。

この畑は、広さはせいぜい約9坪ぐらいですが、写真にある様に立派なトウモロコシやトマトも沢山収穫できます。育った野菜はみんなで楽しくいただきます。たとえ形や味がいま一つでも、手塩にかけて育てた野菜の味は、また格別です。

ふらりと立ち寄り、気楽に話しができるこの畑は、利用者さんにとって憩いの場所であるだけでなく、利用者さんの情緒や病状の安定に貢献してくれている畑だと思います。

精神科デイケア/デイ・ナイトケア/ショートケア/ナイトケア
精神保健福祉士 青木和博



縁側で休憩中の利用者さん



収穫した夏野菜

グリーンホームのプランター園芸

介護老人保健施設グリーンホームでは昨年より“園芸”を始めました。利用者さんには野菜・お花などをプランターで育てる楽しみや、新鮮な野菜を食べる楽しみを感じていただければと思います。

今年は土作りから始めました。手袋も用意しましたが、利用者さんは「こんなもんしてちゃ上手くできない」と泥だらけになりながら肥料を蒔き、夢中でかき混ぜて下さいました。ナス・枝豆・ミニトマトの苗を植え、利用者さんと実がなるのを楽しみにしながら毎日の水くれ当番を決めて育てています。残念ながら、元気がなく心配していた枝豆の苗は、病気にかかってしまったらしく、ついに完全に枯れてしまいました(; ;)。

しかし、その他のナスとミニトマトは元気よく育ち、ふくよかに実がなり、利用者さんたちのお口の中で幸せに食べられました(≧▽≦)。

秋には、みんなで相談して沢山のお花を植えて、利用者さんに喜んでいただきたいと思っています。

介護老人保健施設 グリーンホーム 准看護師 中山 聖子



初めて実がついたナス



プランターに種を植えている様子

子供みこしが来るよ～!!



平成22年7月18日に福居南町夏祭りが開催されました!

当施設の開設当初は、おみこしは素通りで、「おみこしが来たよ～」と外に出た時には、子供の姿は遥か彼方…(T_T)……。今では陽だまりに立ち寄ってくれ、入居者さんはお賽銭を握り締め、バケツとホースを準備し、おみこしの到着を今か今かと待っているのが恒例になりました。

今年はグリーンホームからも利用者さんが参加され、水をかけられる子供達を心配しながらも、元気っぱいの姿に笑顔がこぼれ、暑い最中でしたが、お孫さん・ひ孫さんを思いおこす楽しいひと時となりました。

夕方からは納涼祭に参加し、地域の方々と交流を深めながら、祭り料理に舌鼓を打ち、カラオケ好きの入居者さんが大勢の前で“ざざんかの宿”を熱唱し、満足そうな笑顔を見せていました。

認知症高齢者グループホーム 陽だまり 介護福祉士 須 齋



陽だまりの前で止まるおみこし



子供たちにお賽銭をあげる入居者さん

“第30回 足利市ふれあいのつどい”に参加しました



平成22年5月23日“第30回足利市ふれあいのつどい”が開催されました!これは、“ふくしまつり”として昭和56年から行われている催しで、現在は年に1回、毎年5月に行われています。ハートランドも毎年参加していて、今回で5回目を迎えます。

今年は、新たな試みとして、日頃から社会適応訓練事業でお世話になっているパングルメ・ジェリーの店長さんに協力をお願いして、パングルメ・ジェリーとハートランドのコラボ商品を作りました。開発までには長い長い時間が…というほどではありませんが、ハートランドの利用者さんにアイデアを募集して、その中からジェリー店長さんに実現可能な案を2つ選んでいただき、商品化!全粒粉(ぜんりゅうふん)を使ったクッキーとラスクの完成です。



会場の様子

パングルメ・ジェリーとハートランドのコラボ商品クッキー(左) ラスク(右)



当日は、雨天ということもあり完売というわけにはいきませんでした。でも雨天だからこそ、自然と“みんなで頑張ろう!”といった雰囲気になり、とても充実した1日になったと思います。

来年こそは是非、晴天の下でいつも以上に元気に参加したいと思います♪

地域活動支援センター ハートランド 精神保健福祉士 新 海

太田吉沢ゆりの里に出かけました



6月のレクリエーションで、太田吉沢ゆりの里へ行ってきました。開設されてからまだ間もなく、どのような所かと利用者さんも職員もワクワクしながら車で向かいました。

頭の中で満開のゆりの花を思い浮かべながら…そして到着!!園内に入ってみると、満開にはまだ早く三分咲きくらいでした…(笑)。しかしその中でもしっかりと咲いている花はあり、みんなで見とれてしまいました。1本ずつでも綺麗でとても魅力ある花でした。利用者さんからも「綺麗だねえ」と喜ばれる声が挙がり、その言葉が私たち職員にとっても大きな励みとなり、とても嬉しい気持ちになりました。

私もしばらくゆりの花に目を奪われてしまいましたが、更にそれ以上に目を奪われてしまったのが!!それは売店で売られていた“ゆり根の天ぷら”でした。さて、どんな味がするのだろうか?気になって仕方がありませんでしたが、これは、次回のお楽しみに取っておきます。機会があれば、是非みなさんも行ってみてください。



利用者さんとゆりの花

介護老人保健施設グリーンホーム 介護福祉士 佐 羽

第44回日本作業療法学会に行ってきました



平成22年6月11日～13日までの3日間、第44回日本作業療法学会が宮城県仙台市で開催されました。今回の学会には当法人のリハビリに携わるOT、PTの計5名が参加しました。全国規模の学会であり、会場は多くの参加者で賑わっていました。地方に就職した大学時代の友人にも出会って仕事の話や、昔話に花が咲き、自分もOTの1人として働き始めたのだ、との実感が湧いてきました。

講義の内容としては、老人保健特有の認知症に関するものから、社会復帰領域の自立支援法や地域生活支援、そして精神領域の病棟での作業療法と幅広く、概念的なものもあり、症例検討・実際に行ったアプローチの説明ありと様々でした。その中でも、山根寛氏の“精神病早期介入の現状と作業療法の可能性”の講義が特に印象的でした。この中で、「作業療法士の怠慢により、患者さんにとってやりたくない作業を提供し、患者さんがそれを続けてしまった結果、それが患者さんにとっての当たり前の作業になってしまう」と山根氏からお話がありました。私は、このお話しに非常に感銘を受けました。この講義に習い、今後は初期面接時の趣味・作業療法で行いたいことの聴取に加え、作業療法独自のチェックリストを用いて、面接では知ることのできない患者さんの内的な興味・関心を評価していきたいと考えております。

これにより、患者さんの興味とリハスタッフが提供していきたいことが合致し、患者さんが積極的に作業に取り組めるとともに、治療的意味合いを高めていけると考えています。

最後に、今回の学会では病棟、社会復帰施設、老人保健施設それぞれの専門性や分野を越えて知識を得ることができました。自分達が担当する範囲だけでなく、その先(=可能性)を見据えて連携をとっていくことで、よりよい医療の提供に繋がっていくと考えます。

院内総合リハビリ室 作業療法士 狐塚



日本作業療法学会の
会場の様子



社会復帰施設

ケアホーム「Co-net.」若竹 見学に来て下さい!!

ケアホーム「Co-net.」若竹（以下若竹と略す）では、利用希望の方に対して随時見学を受け付けています。

ケアホームとは、共同生活を行ないながら、社会復帰に向けた支援、入浴や食事など日常生活の訓練や社会復帰に向けた様々な支援を提供する施設です。例えば「長い入院生活の影響で、退院しても社会に出ることが不安」「親が亡くなってしまい自分でお金を管理していけるのか心配」などといった不安事や心配事に対して、共同生活を送る中で、スタッフと共に支援計画を考えて、実際の支援や訓練を通して、様々な不安事や心配事を解決していくことを目指す施設です。

ではここで、実際に若竹を見学された方からよくいただく質問の一部をご紹介します。

Q1：お世話をしてくれるスタッフの方はどのような職種の人ですか？

A1：人員配置基準上は職種の決まりはありません。

当施設では、看護職員1名、精神保健福祉士5名、介護福祉士1名、看護助手1名の合計8名のスタッフが支援にあたっています。様々な専門職を配置することにより、多角的に利用者さんのお世話や支援にあたれます。

Q2：入居する時に用意するものは何ですか？

A2：居室設備として、エアコン、ミニ冷蔵庫、ベッド(布団込み)、クローゼット、イスなどが完備されています。また、自炊を行う方には、食堂にIH調理器、炊飯器、大型冷蔵庫、各調理器具、食器などがありますので、身の回りの日用品や衣類をご用意いただければ、すぐに入居できます。

Q3：将来自立したいのですが可能ですか？

A3：若竹利用者の多くの方が、アパートやグループホームでの単身生活に移行しており、また何人かは、一般就労につながっています。

入居当初は、多くの方が精神科デイケアに通所し、デイケア以外の時間は、若竹での生活を通して社会復帰に向けての生活訓練を行います。夜間帯は、原則として、若竹のスタッフは施設内に宿直しません。こうしたことも利用者さんの自主性が育つ要因の一つと考えています。

他にも

Q4：共同生活とのことですが、プライバシーの配慮はどうなっていますか？

Q5：食事の提供はしてもらえますか？

Q6：足利市以外の利用者も入居できますか？

などなど、毎回みなさんからの多くの質問をいただきます。この場ではお伝えしきれませんので、ぜひ一度、直接見学にいらしていただければと思います。

お気軽にケアホーム「Co-net.」若竹：0284-70-6651又は、地域連携相談室「ASSIST」：0284-71-3191までお電話ください。お待ちしております★



見学者にIHクッキングヒーターの
使い方の説明をする様子

ケアホーム「Co-net.」若竹 精神保健福祉士 勝 又

第2回目のキーワード！

【コンプライアンス・アドヒアランス・コンコーダンス】

ター君博士の「これってニャ〜に？」



みなさんは、「コンプライアンス・アドヒアランス・コンコーダンス」という言葉をご存知でしょうか？

“コンプライアンス”とは、権威のある人の命令や規則・要求に従うことで、“コンプライアンスが良い”と言うことは、医療現場では医療従事者の指示を遵守していることの意味で使われます。従って“コンプライアンスが悪い”と言うことは、患者さんに問題があるとして捉えられ、指示に従うように患者さんへの指導が行われてきました。

そうした考えを改め、患者さんが治療方法の決定過程に参加し、自ら治療に参加することを目指した“アドヒアランス”の概念が提唱されるようになったのです。しかし、“アドヒアランス”に於いても尚、患者さんの主体性より医療従事者の決定が優先されるといった側面があります。

そこで近年、医療従事者と患者さんがパートナーシップの基盤に立ち、病気や治療についての経験や信念のみならず、患者さんの生活環境も重視し、一緒に治療に関する意思決定を行なう“コンコーダンス”の概念が医療現場に導入されつつあります。

精神科においても、患者さんがまず、医療従事者とより良いパートナーシップを築き、自ら服薬の意義や治療方針を理解し、治療に関する意思決定を行うことにより、病気に立ち向かっていく希望や原動力が生まれるのではないかと思います。

病院のアイドル犬 チョコ's Café



夏恒例のチョコちゃんの水遊び

- ★初診の受付が予約制になりました。初診の方は、地域連携相談室「アシスト」までご連絡下さい。
- ★初診の方で、他の医療機関に受診中の方は、診療情報提供書を忘れずお持ち下さい。
- ★外来の受付時間
受付時間 9:00～12:00
診察時間 9:30～13:00
※急患の場合はこの限りではありません。

医療・福祉に関するご相談、病院関連施設に関するお問い合わせは

地域連携相談室「アシスト」
☎0284-71-3191
地域活動支援センター「ハートランド」
☎0284-70-0811

介護保険関連に関するお問い合わせは

居宅介護支援事業者
「グリーンホームケアプランセンター」
☎0284-70-3170
……までお気軽にお問い合わせ下さい。

◆入院・入所等のご相談等も
随時受け付けております◆

私たち、医療法人孝栄会の目標です。

法人理念

自分や自分の家族が望むサービスの提供を目指そう。

●前沢病院●

私たちは、次に掲げる基本方針のもと、精神医療・高齢者医療に取り組みます。

1. 地域の中で、誤解なく精神医療が普及するよう努めます。
2. 精神障害者とご家族が、地域生活に「参加」し、「活動」しながら、「自分らしく生きること」を支援します。
3. 高齢者の「今」を大切にします。
4. 精神医療と高齢者医療から「施設障害」をなくすべく、チーム医療を実践します。

●介護老人保健施設グリーンホーム●

私たち、介護老人保健施設グリーンホームは、
一、療養者の皆様に、「自分の家族にして欲しい介護」を提供する事を目指します。
一、療養者の皆様との、「共生」を目指します。
一、療養者の皆様の、「今」を大切にします。
一、療養者の皆様のために、「今、何が出来るか？」「今、何をすべきか？」を常に考えて行動します。
一、これらの実現が、療養者の皆様とご家族様に対する、私たちの使命である事を忘れません。

●認知症高齢者グループホーム陽だまり●

私たちは、
入居者様が重ねてこられた経験入居者様が今、持っている力今、住んでいる地域（まち）今、陽だまりで提供できることを最大限活かす努力を惜しみません。そして、
「その人らしく」「いきいきと」生活していただくことをお手伝いし、「その人らしく」をいつまでも…を目標にします。

Access Map

自動車でお越しの方

- 佐野・藤岡 I C (東北自動車道) より 15分

電車でお越しの方

- 福居駅 (東武伊勢崎線) より徒歩 5分
- 足利駅 (JR両毛線) よりタクシー 12分
- 足利市駅 (東武伊勢崎線) よりタクシー 7分

栃木県足利市福居町 1210 番地

